

平成 27 年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策（概要版）
【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 21 条に基づく報告】

1 平成 27 年度多文化共生施策の概要

(1) 「意識の壁」の解消

① 多文化共生シンポジウム開催事業（事業費：182 千円）

柴田町と共催で、定住外国人の社会参画について、外国人観光客のおもてなしをテーマとした「多文化共生シンポジウム in 柴田」を開催し、地域で暮らす在留外国人の社会参画について基調講演やパネルディスカッションを行い、理解促進を図った。約 110 人が参加した。

② 啓発ツール作成事業（事業費：238 千円）

多文化共生を進めていく上での基本理念や外国人県民を取り巻く 3 つの壁などについて説明するリーフレットの作成を行い、多文化共生社会に関して県民への普及啓発を行った。

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：191 千円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催（2 回）し、前年度に講じた施策や平成 27 年度多文化共生推進事業について審議した。また、第 5 期の審議会委員を委嘱し、多文化共生社会の形成を促進するために今後必要な事項等について意見をいただいた。

④ 多文化共生市町村等研修会（事業費：17 千円）

市町村職員及び国際交流協会職員を対象に、「多文化共生社会の形成促進に関する課題と方策について」などを題材に研修会を開催した。26 人が参加した。

(2) 「言葉の壁」の解消

① 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：143 千円）

（公財）宮城県国際化協会へ委託し、県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ通訳ボランティアを派遣できる体制の整備を行った。ボランティアを 132 人確保し、21 か国語での対応が可能となった。

(3) 「生活の壁」の解消

① みやぎ外国人相談センター設置事業（事業費：2,179 千円）

（公財）宮城県国際化協会へ委託し、外国人県民やその家族から寄せられた困りごと等の相談に対し、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスを行った。226 件の相談に 7 言語（日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語、ベトナム語）で対応した。

② 多文化共生市町村等研修会（事業費：16 千円）

市町村、国際交流協会等職員を対象とした研修会を開催し、宮城県における外国人県民の概況等及び市町村等における先進的な事例等について学習した。26 人が参加した。

(4) その他

① 市町村との意見交換会

（公財）宮城県国際化協会の職員とともに 5 市 1 村を訪問し、外国人県民の住民登録や医療保健福祉、教育など各分野に関する意見、情報交換を行った。

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

○評価指標 1 多文化共生啓発事業の実施市町村数

実績値 H26 : 4市町村 ⇒ H27 : 6市町村
(計画値 H25 : 2市町村 ⇒ H30 : 35市町村)

前年度 (H26) より2市町村増加した。

○評価指標 2 多文化共生に関する説明会等への参加県民数

実績値 H26 : 0人 ⇒ H27 : 203人
(計画値 H25 : 0人 ⇒ H30 : 750人)

前年度 (H26) から203人増加した。

○評価指標 3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

実績値 H26 : 12市町村 ⇒ H27 : 14市町村
(計画値 H25 : 9市町村 ⇒ H30 : 16市町村)

実施市町村 : 仙台市, 石巻市, 名取市, 角田市, 多賀城市, 登米市, 栗原市, 大崎市, 柴田町, 亘理町, 松島町, 美里町【H26より】塩竈市, 丸森町

○評価指標 4 日本語講座開設数

実績値 H26 : 27講座 ⇒ H27 : 28講座
(計画値 H25 : 28講座 ⇒ H30 : 32講座)

実施市町村 : 仙台市 (13講座), 石巻市 (2講座), 気仙沼市, 名取市, 角田市, 岩沼市, 登米市, 栗原市, 大崎市, 川崎町, 亘理町, 松島町, 利府町, 美里町, 南三陸町【H26から仙台市で1講座増】

○評価指標 5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

実績値 H26 : 6市町村 ⇒ H27 : 6市町村
(計画値 H25 : 5市町村 ⇒ H30 : 9市町村)

実施市町村 : 仙台市, 石巻市, 気仙沼市, 角田市, 登米市, 川崎町

○評価指標 6 技能実習生を除く外国人雇用者数

実績値 H26 : 3,945人 ⇒ H27 : 4,042人
(計画値 H25 : 3,212人 ⇒ H30 : 3,900人)

※ 上記の実績値は、計画値に合わせ、H26はH25の実績、H27はH26の実績を用いることとしている。

H25からH26にかけて97人増加 (対前年増加率2.5%)

(※H24からH25にかけて733人増加 (対前年増加率22.8%))